

# 釧路総合振興局記者クラブ配付資料

報道発表資料の配付日時 令和5年(2023年)10月27日(金) 11:00

発表項目	健康増進に関する月間等について(11月)		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
	月 日( ) 時 分	発表場所	
概要	<p>【第59回全国糖尿病週間(2023年)】</p> <p>毎年、世界糖尿病デーの11月14日を含む一週間を「全国糖尿病週間」として、各都道府県糖尿病協会や友の会が主体となり、全国各地で一般向けの講演会や広報活動が実施されます。</p> <p>□日程 全国糖尿病週間(2023年)11月12日(日)～18日(土) 世界糖尿病デー 11月14日(火)</p> <p>□テーマ アドボカシー～偏見にNO!～</p> <p>□関連行事</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>第59回全国糖尿病週間行事 特別講演会 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">別添1</span> 日 時 2023年11月8日(土) 14:00～16:00 会 場 ロイトン札幌 2F エンプレス (Web併用のハイブリット開催)</li> <li>11月14日(火)世界糖尿病デー ブルーでライトアップ <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">別添2</span> 11月14日(火)全道9箇所の会場が、午後5時から一斉にブルーでライトアップされます。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>さっぽろテレビ塔、札幌市時計台、萬田記念病院、 釧路市生涯学習センター、イオンモール苫小牧、 苫小牧市緑ヶ丘公園展望台、nepiaアイスアリーナ、 苫小牧信用金庫本店、苫小牧西港フェリーターミナル</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>市民公開講座(釧路CDE研究会主催) 11月18日(土)、釧路市民文化会館で開催準備中 詳細は、釧路赤十字病院薬剤部 高柳様(電話0154-22-7171)</li> </ul>		
参考	<p>①第59回全国糖尿病週間行事特別講演会 開催案内</p> <p>②11月14日(火)世界糖尿病デー 開催案内</p>		

報道(取材)に当たってのお願い			
他のクラブとの関係	同時配付	(場所)	
	同時レク		

担当(連絡先)	釧路総合振興局保健環境部保健行政室(釧路保健所) 企画総務課長 木村 将伯 (電話) 0154-65-5819		
---------	--	--	--

第59回

# 全国糖尿病週間行事 特別講演会



日時 2023年**11月18日** (土)  
14:00~16:00

会場 **ロイトン札幌 2F エンプレス** (Web併用のハイブリット開催)

〒060-0001 札幌市中央区北1条西11丁目 電話: 011-271-2711

※ご来場の際は出来るだけ公共交通機関をご利用ください

問い合わせ先: 北海道糖尿病協会事務局 柴田 晴昭 Tel: 011-231-4032

事前登録用URL: [https://ono-pharma.zoom.us/webinar/register/WN\\_b6QpzxTOT82AWmwzQPaeqA](https://ono-pharma.zoom.us/webinar/register/WN_b6QpzxTOT82AWmwzQPaeqA)



## PROGRAM

開 場 13:20

開会あいさつ 14:00 **種田 紳二** 先生 北海道糖尿病協会会長  
公益社団法人日本糖尿病協会理事  
医療法人萬田記念病院院長

特別講演 14:05

座長 **木島 弘道** 先生 北海道糖尿病協会常任理事  
国家公務員共済組合連合会斗南病院  
糖尿病・内分泌内科 センター長・科長

## あなたにとって「食」とは

講師 **中川 幸恵** 先生 天使大学 看護栄養学部 栄養学科 教授



患者様体験談 15:00

座長 **亀田 啓** 先生 北海道糖尿病協会常任理事  
北海道大学病院糖尿病・内分泌内科助教

演者1 **末光 正卓** 先生 札幌にれの木会会長

演者2 **海老塚 大介** 先生 札幌創成会会長

演者3 **杉原 徳明** 先生 北海道つぼみの会副会長



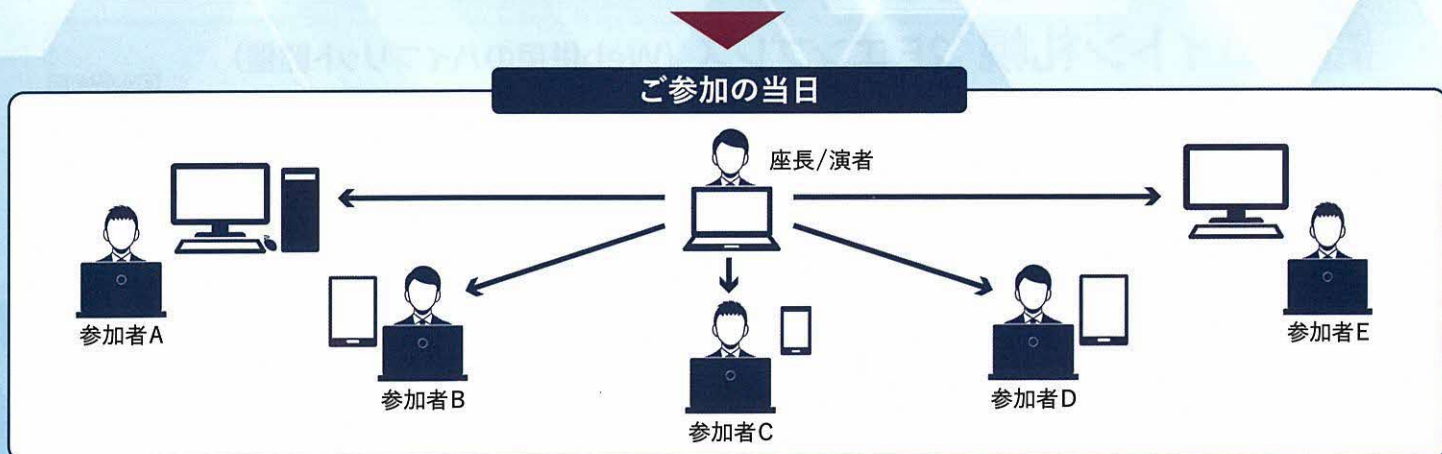
閉会あいさつ 15:55 **相馬 愛子** 先生 北海道糖尿病協会副会長

閉 会 16:00

※会終了後、医療スタッフが糖尿病に関する医療相談をお受けします。日常にてお困りの事がございましたら、ご遠慮なくご参加ください。詳細は札幌LCDEホームページをご確認ください。

# 第59回 全国糖尿病週間行事 特別講演会

## Online Symposiumとは



## 参加手順

### パソコンから

- 事前登録されたメールアドレス宛に、当日参加用URLが届きます。
- 当日参加用URLをクリックすると視聴ページへアクセスできます。
- ブラウザが立ち上がりZoomクライアントのインストールが促されますが、「Zoomミーティングに参加する」または「ブラウザから参加」を選択いただければ、インストールせずに視聴可能です。

### スマートフォン・タブレットから

- 事前に『Zoom』アプリのインストールを行ってください。
  - 事前登録されたメールアドレス宛に届く、当日参加用URLにより視聴ページへアクセスできます。
- ※サインイン・サインアップは必須ではありません。

ご参加時には、「お名前、ご施設名」ご入力のご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 重要

講演会当日までにテスト環境での接続テストを実施いただくことをお勧めしております。下記URL、もしくは2次元コードよりテスト環境へのアクセスください。

テスト環境URL:<http://zoom.us/test>



※ ページが開きましたら「参加」ボタンよりテスト環境へご参加いただけます。

## 本講演会をご視聴いただくには、以下の環境が必要です。

### ● パソコンまたはモバイル機器

**Windows** 11(5.9.0以降) / 10 / 8 / 8.1 / 7

**Mac** OS10.7以降を搭載のMac OS X

**モバイル機器** iOS7.0以降 / iPadOS13以降 / Android 4.0x以降

**ブラウザ** IE7+ / Firefox / Chrome / Safari5+

### ● 通信環境

推奨される帯域幅: ≥600kbps ※Zoomで使用される帯域幅は、自動的に5G、4G、WiFi、または有線環境に応じて最適化されます。

- 当日の設備トラブルや、ご利用のプロバイダ・パソコンにおけるトラブルや制限等、不測の事態によりご覧いただけない場合がございます。その際はご容赦くださいますようお願いいたします。

※ iPhone/iPadはApple Inc.の商標です。AndroidはGoogle Inc.の商標です。

**共催** 北海道糖尿病協会 / 北海道糖尿病対策推進会議 / 札幌LCDE認定機構 / 小野薬品工業株式会社  
**後援** 北海道 / 札幌市

# 11月14日(火) 世界糖尿病デー



さっぽろテレビ塔(イメージ)



札幌市時計台(イメージ)



釧路市生涯学習センター(イメージ)



萬田記念病院(イメージ)



苫小牧市緑ヶ丘公園  
展望台(イメージ)

ブルーでライトアップ



イオンモール苫小牧(イメージ)

**11月14日** さっぽろテレビ塔、札幌市時計台、  
釧路市生涯学習センター、萬田記念病院、  
イオンモール苫小牧、苫小牧市緑ヶ丘公園展望台、  
nepiaアイスアリーナ、苫小牧信用金庫本店、  
苫小牧西港フェリーターミナルが**青い光**に包まれる

さっぽろテレビ塔	17:00~21:00	苫小牧市緑ヶ丘公園展望台	17:00~21:00
札幌市時計台	17:00~21:00	nepiaアイスアリーナ	17:00~21:00
釧路市生涯学習センター	17:00~22:00	苫小牧信用金庫本店	17:00~21:00
萬田記念病院	17:00~21:00	苫小牧西港フェリーターミナル	17:00~21:00
イオンモール苫小牧	17:00~21:00		

\*ご来場の際はできるだけ公共交通機関をご利用ください。

テーマ：「アドボカシー ～偏見にNO!～」

第59回 **糖尿病週間**  
全 国

11月12日(日)~11月18日(土)



world diabetes day  
14 November

主 催：北海道糖尿病対策推進会議  
北海道医師会・日本糖尿病学会北海道支部・北海道糖尿病協会  
北海道健康づくり財団・北海道歯科医師会・北海道薬剤師会・北海道眼科医会  
後 援：北海道・札幌市・苫小牧市・札幌市医師会・苫小牧市医師会・北海道看護協会  
北海道栄養士会

# 2016年に日本糖尿病学会と日本老年医学会は「高齢者(65歳以上)糖尿病の血糖コントロール目標値」(HbA1c値)を発表しました。

## 高齢者(65歳以上)糖尿病の血糖コントロール目標(HbA1c値)

患者の特徴・健康状態 <sup>注1)</sup>	カテゴリーI		カテゴリーII		カテゴリーIII
		①認知機能正常 <b>かつ</b> ②ADL自立		①軽度認知障害～軽度認知症 または ②手段的ADL低下, 基本的ADL自立	
重症低血糖が危惧される薬剤(インスリン製剤, SU薬, グリニド薬など)の使用	なし <sup>注2)</sup>	7.0%未満		7.0%未満	8.0%未満
	あり <sup>注3)</sup>	65歳以上 75歳未満 7.5%未満 (下限6.5%)	75歳以上 8.0%未満 (下限7.0%)	8.0%未満 (下限7.0%)	8.5%未満 (下限7.5%)

治療目標は、年齢、罹病期間、低血糖の危険性、サポート体制などに加え、高齢者では認知機能や基本的ADL、手段的ADL、併存疾患なども考慮して個別に設定する。ただし、加齢に伴って重症低血糖の危険性が高くなることに十分注意する。

注1：認知機能や基本的ADL（着衣、移動、入浴、トイレの使用など）、手段的ADL（IADL：買い物、食事の準備、服薬管理、金銭管理など）の評価に関しては、日本老年医学会のホームページを参照する。エンドオブライフの状態では、著しい高血糖を防止し、それに伴う脱水や急性合併症を予防する治療を優先する。

注2：高齢者糖尿病においても、合併症予防のための目標は7.0%未満である。ただし、適切な食事療法や運動療法だけで達成可能な場合、または薬物療法の副作用なく達成可能な場合の目標を6.0%未満、治療の強化が難しい場合の目標を8.0%未満とする。下限を設けない。カテゴリーIIIに該当する状態で、多剤併用による有害作用が懸念される場合や、重篤な併存疾患を有し、社会的サポートが乏しい場合などには、8.5%未満を目標とすることも許容される。

注3：糖尿病罹病期間も考慮し、合併症発症・進展阻止が優先される場合には、重症低血糖を予防する対策を講じつつ、個々の高齢者ごとに個別の目標や下限を設定してもよい。65歳未満からこれらの薬剤を用いて治療中であり、かつ血糖コントロール状態が図の目標や下限を下回る場合には、基本的に現状を維持するが、重症低血糖に十分注意する。グリニド薬は、種類・使用量・血糖値等を勘案し、重症低血糖が危惧されない薬剤に分類される場合もある。

### 【重要な注意事項】

糖尿病治療薬の使用にあたっては、日本老年医学会編「高齢者の安全な薬物療法ガイドライン」を参照すること。薬剤使用時には多剤併用を避け、副作用の出現に十分に注意する。